

第76回国民体育大会 総合開・閉会式会場地選定

第 7 6 回国民体育大会における総合開・閉会式会場地については、(公財)日本体育協会や県準備委員会の基準、並びに先催県における開催実績等も踏まえ、以下のような考え方にに基づき、選定を行いました。

1. 総合開・閉会式会場の選定方法

(1) [第 1 次選定]

日体協の「国民体育大会施設基準」(資料 1)、並びに先催県における実績数値(資料 2)等を勘案し、①施設面積②収容人数③体育館規模の 3 条件を設定し、県内スポーツ施設の中から上位 3 施設を一次候補として選定しました。

(2) [第 2 次選定]

一次候補の 3 施設に対して、下記の①～③による評価基準を設定し、比較評価を行いました。

①施設要件	式典会場として必要な機能を確保するための「施設会場規模」、「設備・付帯施設」
②運営要件	会場全体の安全性、機能性、効率性等を確保するための「会場エリア」、「会場の動線確保」
③周辺環境要件	会場周辺の利便性を確保するための「交通・輸送」、「周辺駐車場」、「宿泊環境」

(3) 上記(2)で評価が高い施設を総合開・閉会式会場地の候補としました。

2. 選定結果

(1) 資料 3 のとおり、一次候補施設は、下記の 3 施設となりました。

- ・中央緑地陸上競技場(四日市市)
- ・三重県営総合競技場 陸上競技場(伊勢市)
- ・三重県営鈴鹿スポーツガーデン サッカー・ラグビー場(鈴鹿市)

(2) 資料 4 のとおり、一次候補施設のうち一番評価が高い施設は、下記の施設となりました。

三重県営総合競技場 陸上競技場(伊勢市)

※なお、上記の施設は、平成 26 年 10 月 1 日からネーミングライツの取得により「三重交通 G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場」となります。

国民体育大会施設基準（抜粋）

出典：（公財）日本体育協会

【国民体育大会】

競技	基準	摘要
総合開・閉会式	式典会場は、観覧席が仮設スタンドを含み、約3万人を収容できる施設 屋外の式典会場の場合は、雨天対策用として体育館 1	
陸上競技	日本陸上競技連盟公認の1種競技場 1	1周 400mのサブトラック 1、投てき練習場 1
水泳	日本水泳連盟公認のプール 1. 競泳用 50mプール 1(隣接して 25m補助プール 1) 2. 飛込、シンクロナイズドスイミング用プール 1 (飛込用として 10mの固定台と 3mの飛板を備えていること。) 3. 水球用プール 1	左記 1. 2. 3は、至近距離にある異なった会場であることが望ましい。
サッカー	規定の競技場芝生 7面以上	2会場以上に分かれてもよい。 原則、天然芝とするが、全3面までJFA公認人工芝ピッチの使用を可能とする。
テニス	規定のコート 20面	2会場に分かれる際は 24面とする。
ボート	1,000mの 5コースを有する水路 1、艇庫 1(仮設でもよい。) 回漕用として 1コース程度を付設する水路	
ホッケー	規定の競技場 2面	
ボクシング	規定のリング 2面を設置することができる体育館 1 (床面積：縦 40m以上×横 35m以上) 検診、計量会場、医療室、グローブング室、選手練習場などの付帯施設	
バレーボール	規定の屋内コート 8面	2会場以上に分かれてもよい。体育館の天井の高さは 10m以上が望ましいが、7m以上あればよい。
体操	規定の各器具を設置することができる体育館 1	2会場に分かれてもよい。

先催県における実績数値

1. 施設面積状況

- (1) 形状：千葉県を除き、すべてが陸上競技場で開催
- (2) 面積：開催実績のある施設の最小面積は 14,674 m²程度

候補とする施設の必要最小面積を 14,500 m²とする

2. 観客収容状況

- (1) 収容人数：15,392 人 (H16 埼玉国体) ～ 49,970 人 (H25 東京国体)
- (2) 観覧者数の実績：9,900 人 (H17 岡山国体) ～ 26,380 人 (H25 東京国体)

※平均 17,325 人

候補とする施設の最低収容人数を 9,900 人とする

3. 体育館状況

先催県では、荒天時における会場候補を、体育館以外のホールや会議室としている事例もありましたが、できるだけ多くの参加者を見込めることができるよう比較的大きな体育館を確保する。

候補とする体育館の必要最小面積を 2,000 m²とする

【先催県の実績数値等】

開催年 開催県	1. 施設面積状況	2. 観客収容状況			3. 体育館状況	
	施設名称 (施設面積)	選手、監督、 大会関係者 ※()は閉会式	観覧者 ※()は閉会式	参加者合計 ※()は閉会 式	会場 収容力 ※通常時	体育館等名称 (体育館等面積)
H16 埼玉県	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 (22,500 m ²)	28,274 人 (10,297 人)	13,849 人 (11,200 人)	42,123 人 (21,497 人)	15,392 人	
H17 岡山県	桃太郎スタジアム (21,057 m ²)	19,475 人 (11,156 人)	9,900 人 (9,700 人)	29,375 人 (20,856 人)	20,000 人	
H18 兵庫県	ユニバー記念競技場 (18,607 m ²)	18,843 人 (12,073 人)	22,882 人 (13,126 人)	41,725 人 (25,199 人)	45,000 人	
H19 秋田県	県立中央公園陸上競技場 (20,700 m ²)	13,533 人 (5,260 人)	10,774 人 (2,859 人)	24,307 人 (8,119 人)	22,000 人	スカイドーム (ドーム) (8,720 m ²)
H20 大分県	九州石油ドーム (16,850 m ²)	15,257 人 (5,571 人)	21,490 人 (4,865 人)	36,747 人 (10,436 人)	40,000 人	九州石油ドーム (16,850 m ²)
H21 新潟県	東北電力ビックスワンスタジアム (20,585 m ²)	16,353 人 (6,196 人)	23,773 人 (3,937 人)	40,126 人 (10,133 人)	42,300 人	文化ホール (ホール) (1,510 人収容)
H22 千葉県	千葉マリンスタジアム (14,674 m ²)	16,987 人 (4,522 人)	16,296 人 (5,371 人)	33,283 人 (9,893 人)	30,082 人	ホテル (ホール) (300 人収容)
H23 山口県	維新百年記念公園陸上競技場 (22,645 m ²)	17,941 人 (9,785 人)	13,147 人 (12,181 人)	31,088 人 (21,966 人)	20,000 人	文化センター (体育館) (2,294 m ²)
H24 岐阜県	岐阜メモリアルセンター長良川競技場 (20,867 m ²)	22,049 人 (9,692 人)	14,755 人 (10,123 人)	36,804 人 (19,815 人)	31,000 人	国際会議場 (ホール) (1,689 人収容)
H25 東京都	味の素スタジアム (20,200 m ²)	20,750 人 (11,231 人)	26,380 人 (7,712 人)	47,130 人 (18,943 人)	49,970 人	東京都庁 (会議室) (500 人収容)

平均値	18,946 人	17,325 人	36,271 人
-----	----------	----------	----------

第76回国民体育大会 総合開・閉会式会場地選定 第1次選定比較検討表

	所在市町、施設名、面積／客席数	施設面積	収容人数	体育館規模	評価結果
		先催県の実績最小値 (14,500 m ²) を満たす場合に○とする	先催県の実績最小値 (9,900 人) を満たす場合に○とする	先催県の実績数値 (体育館又はド ーム形式で 2,000 m ²) を超える場合に ○とする	
ア	(津市) 安濃中央総合公園内野球場 12,800 m ² ／2,500 人	×	×	× 公園内体育館 (1,702 m ²)	
イ	(四日市市) 霞ヶ浦第1野球場 12,400 m ² ／10,181 人	×	○	○ 四日市ドーム (9,707 m ²)	
ウ	(四日市市) 中央緑地陸上競技場 18,500 m ² ／10,000 人	○	○	○ 四日市ドーム (9,707 m ²)	一次候補
エ	(伊勢市) 三重県営総合競技場陸上競技場 20,500 m ² ／24,000 人	○	○	○ サンアリーナ (3,489 m ²)	一次候補
オ	(伊勢市) 倉田山公園野球場 12,400 m ² ／10,122 人	×	○	○ サンアリーナ (3,489 m ²)	
カ	(鈴鹿市) 三重県営鈴鹿スポーツセンターサッカー・ラグビー場 14,500 m ² ／12,000 人	○	○	○ スポーツガーデン体育館 (2,011 m ²)	一次候補
キ	(鈴鹿市) 石垣池公園陸上競技場 17,200 m ² ／1,450 人	○	×	× 市立体育館 (1,776 m ²)	
ク	(熊野市) 山崎運動公園くまのスタジアム 12,100 m ² ／6,500 人	×	×	× 熊野市体育館 (1,200 m ²)	
ケ	(東員町) 東員町スポーツ公園陸上競技場 19,000 m ² ／2,000 人	○	×	× 町総合体育館 (1,504 m ²)	

第76回国民体育大会 総合開・閉会式会場地選定 第2次選定評価調書

資料 4

候補施設		四日市市中央緑地陸上競技場	三重県営総合競技場 陸上競技場	三重県営鈴鹿スポーツセンターサッカー・ラグビー場
施設概要				
競技場種別	第2種公認陸上競技場		第1種公認陸上競技場	
グラウンド面積	18,500㎡		20,500㎡	
開設年	1968年(昭和43年)		1968年(昭和43年)	
収容人員(固定席/芝生席)	10,000人(2,000人/8,000人)		24,000人(12,000人/12,000人)	
荒天時における体育館	四日市ドーム		三重県営サンアリーナ	
評価項目	概要、特徴等	評価	概要、特徴等	評価
1.施設要件	施設会場規模	<ul style="list-style-type: none"> メインスタンド:固定席2,000席 ロイヤルボックス:なし 入場行進トラック:あり 仮設観客席:確保困難 エレベータ:なし 	<ul style="list-style-type: none"> メイン、バックスタンド:固定席12,000席 ロイヤルボックス:あり 入場行進トラック:あり 仮設観客席:確保可能 エレベータ:設置予定 	<ul style="list-style-type: none"> メインスタンド:固定席3,300席 ロイヤルボックス:なし 入場行進トラック:なし 仮設観客席:一部確保可能 エレベータ:なし 
	設備・付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> 既存諸室:10室 貴賓室:なし 大型映像装置:なし 	<ul style="list-style-type: none"> 既存諸室:20室 貴賓室:あり 大型映像装置:あり 	<ul style="list-style-type: none"> 既存諸室:15室 貴賓室:あり 大型映像装置:なし
2.運営要件	会場エリア	<ul style="list-style-type: none"> 会場エリア:約183,000㎡ 野球場、体育館、芝生広場などがあり、選手待機所、おもてなし、式典関係者のスペースを確保することが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場エリア:約155,000㎡ サブトラック、野球場、体育館、広場などがあり、選手待機所、おもてなし、式典関係者のスペースを確保することが可能 	<ul style="list-style-type: none"> 会場エリア:約233,000㎡ サッカー場4面、多目的グラウンド、体育館などがあり、選手待機所、おもてなし、式典関係者のスペースを確保することが可能。
	会場の動線確保	<ul style="list-style-type: none"> 観客入場口:2カ所 間口:約3m 選手入場口:4カ所 間口:約8m 	<ul style="list-style-type: none"> 観客入場口:2カ所 間口:約18m 選手入場口:4カ所 間口:約12m 	<ul style="list-style-type: none"> 観客入場口:2カ所 間口:約5m 選手入場口:4カ所 間口:約5m
3.周辺環境要件	交通・輸送	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄四日市駅から7分、JR四日市駅から11分 高速道(四日市IC)から23分 接続道路:国道1号 車線数:片側1車線 	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄五十鈴川駅から7分、JR伊勢市駅から11分 高速道路(伊勢西IC)から5分 接続道路:県道 車線数:片側2車線 	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄白子駅から19分、伊勢鉄道徳田駅から6分 高速道(鈴鹿IC)から26分 接続道路:市道 車線数:片側1車線
	周辺駐車場	県四日市庁舎(270台)	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐車場等(1,300台) 県営サンアリーナ駐車場(1,500台) 伊勢・安土桃山文化村駐車場(3,000台) 	鈴鹿サーキット駐車場(4,200台)
	宿泊環境(隣接市町を含む)	15,189人 (四日市市、鈴鹿市、桑名市、いなべ市、菰野町、朝日町)	35,668人 (伊勢市、鳥羽市、志摩市、明和町、南伊勢町)	15,026人 (鈴鹿市、津市、四日市市、亀山市)
評価結果			◎	

評価 (1) ◎設定要件を全て満たすもの。

(2) 上記により難しい項目については、条件の良いものに ◎とした。